

全国高校総体に続き県内各地で夏祭りが始まり、賑やかな毎日が続いておりますが、皆様にはますます御清祥のこととおよろこび申し上げます。放射能による汚染が様々な食品で検出され、大きな社会問題となっております。過去のデータも少なく、判断の難しい状況が発生することも予想されます。子供たちの未来のためにも、安全・安心な学校給食を守るよう努力していかねばなりませんね。

平成23年度 学校給食センター所長研修会 栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会

7月22日(金) 青森市 ゆうネットシティーホールに於いて、開催されました。

今年度は学校給食センター所長、栄養教諭、学校栄養職員あわせて合計約120名が参加しました。はじめに、(財)青森県学校給食会 佐々木 俊二 専務理事と県教育庁スポーツ健康課 相坂 譲 課長代理があいさつしました。午前は消費者問題研究所 垣田 達哉 代表による「食の安全について ～放射能の影響から食肉、健康食品まで～」、

午後にはまちおこしゲリラ集団あおぞら組 島 康子 組長による「マグロを活かした地域づくり」の講演が行われました。午前の講演では全国的な広がりを見せつつある食品の放射能汚染について、報道されることの少ない内容についての説明もあり、改めて深く考えさせられる内容でした。午後の講演では大間のマグロを軸に自分たちも楽しみながら地域を盛り上げている活動内容に、参加者は感心しながら耳を傾けておりました。

昼には毎年恒例の学校給食用物資総合展示会が行われ、今年度は震災の影響もあり、昨年度より少ない計34社のメーカーが出展しました。通常の出取製品に加えて、参考品や新製品等が展示され、大変盛況でした。新製品や参考品について配合等の詳しい資料やサンプル等が必要な場合は学校給食会へお気軽にお問い合わせください。



第1回物資委員会

7月8日(金)学校給食会で開催されました。

2学期から取扱いの新製品について選定が行われました。選定にかけられた11品すべてが新規取扱物資として決定しました。また県産品として3品が紹介されました。今回取り扱いが決定した新規物資は商品案内に掲載しておりますので、御利用、御協力のほどよろしくお願いいたします。また、新規物資に関するお問い合わせ等ございましたら、学校給食会へ御連絡ください。



学校給食用パン技術講習会

7月28日(木)有限会社赤田パンで行われました

(株)工藤パン生産本部次長 倉内春美 氏を講師に、県産小麦ゆきちからを100%配合したパンと、県産ゆきちからと外国産小麦を各50%配合したパン、さらに米粉を100%配合(グルテン30%配合)した米粉パンの3種類を製造しました。ゆきちからを使用したパンは100%配合、50%配合のどちらも良いパンが出来上がり、ゆきちからの生産量が増加する予定の平成24年以降に通常的小麦粉パンとしての供給が可能となっております。また、小麦粉を使用しない米粉100%のパンもますますの出来でしたが、大きいサイズのパンにした場合の状態に不安があり、さらにグルテンを多く使用することによる価格面の問題もあり、実際に供給するためには今後解決しなければならない点も多く見られました。

